

候補地の案について

1. 検討にあたっての条件設定

特別支援学校の施設候補地を選定するにあたり、現時点では保護者アンケート等による需要推計が完了していないため、見込みの定員数や他市の事例を参考に条件設定を行った。以下に検討条件と各候補地における諸元一覧を示す。

【検討条件】

- ・生徒数：250 人を想定（小・中・高一貫校）
- ・対象種別：知的障がい者、肢体不自由者、病弱者
- ・敷地面積：約 30,000 m²を想定
- ・事業費：建設費、用地取得費は各案で同等と仮定（造成・擁壁や補償費等は比較対象）
- ・「特別支援学校施設整備指針 H28.3 文部科学省」（以下、指針とする）

表 各候補地の諸元一覧

候補地		A	B	C	D
所在地		各務原市各務西町	各務原市鵜沼羽場町	各務原市鵜沼西町	各務原市上戸町
地区区分		蘇原地区	鵜沼地区	鵜沼地区	稲羽地区
都市計画マスタープランでの位置付け	区域区分	市街化調整区域	市街化調整区域	市街化調整区域	市街化調整区域
	主要課題地区の方針	・該当なし	・主要な歴史資源地区を結ぶ『各務野歴史街道』と位置付け、沿道景観の形成を図る（歴史街道地区）	・幹線道路沿道の交通利便性を活かし、商業系を中心とした土地利用の展開を図る（鵜沼西町地区・土地利用検討地域）	・該当なし
土地利用の位置づけ	景観面・文化面	・重点風景地区（市民会館周辺地区） ・景観計画での位置づけ：にぎわい地区	—	・埋蔵文化財（真名越北遺跡）	・重点風景地区（各務原大橋通り沿線地区） ・景観計画での位置づけ：市街化調整区域（道路境界より30mまでの区域）
	防災面	・建築基準法第22条区域	・建築基準法第22条区域	・建築基準法第22条区域	・建築基準法第22条区域
ハザードマップ上の位置付け		—	・土砂災害警戒区域 ・ため池浸水区域（泳池、奥池・葎池）	・ため池浸水区域（翠池、大安寺新池）	・土砂災害警戒区域に近接 ・洪水浸水区域（浸水深2.0m～5.0m）
標高（周辺との高低差） （地理院地図より）		・高低差 3m前後	・高低差 3m前後	・高低差 1m前後	・高低差 1m前後
アクセス （公共交通）		・駅なし ・バス：8路線、7停留所（500～1,000m圏内）	・羽場駅（約500～1000m圏内） ・バス：4路線、4停留所	・鵜沼宿駅（約200～500m圏内） ・バス：2路線、1停留所	・駅なし ・バス：1路線、2停留所
周辺施設 （半径500m以内）		・中央小学校 ・中央中学校 ・子苑第二幼稚園 ・市民会館・市民ホール ・中央ライフデザインセンター（公民館） ・中央ライフデザインセンター図書館 ・赤星第一公園 ・赤星第二公園 ・東島池公園 ・各務原スポーツ広場 など ・コパンススポーツクラブ ・コパンフットサルクラブ など	・鵜沼中学校 ・うめま第二幼稚園 ・各務原市 鵜沼福祉センター ・鵜沼市民サービスセンター ・うめま子ども館 ・東保健相談センター ・つつじが丘ふれあいセンター ・鵜沼地区体育館 ・松田公園 ・松田西公園 ・松田南公園 ・羽場公園 ・葎池公園 ・衣裳塚古墳 ・坊の塚古墳 ・愛宕神社 など ・駅周辺に商業施設多数あり	・鵜沼第一小学校 ・鵜沼中保育所 ・衣裳塚古墳 ・坊の塚古墳 など ・イオンタウン ・国道21号沿いに商業施設多数あり ・射幸心を刺激する娯楽施設（パチンコ店）あり	・稲羽中学校 ・西洞山古墳群 ・天神神社 など ・工業地

2. 候補地の選定基準

施設候補地の選定に際しては、施設整備の基準となる①指針（校地計画）に示される項目に加えて、円滑な事業推進が重要と考えられることから、経済性や合意形成の円滑性を指標とする②事業性を評価指標とする。また、長期的な視点に立つ必要性から、計画地周辺の将来動向について、都市計画上の位置づけを加味する③将来性の指標を用いて、3つの評価指標を設定し、比較検討を行った。

配点については、指針に記載された項目については、評価指標の有効性に関する記述をもとに、「重要なもの」を30点、「望ましいもの」を20点、「必要に応じて」を10点とした。また、指針以外の項目については、事業の円滑な推進が望ましいことから、「事業性」の項目をそれぞれ20点、「将来性」については、不確実性があることから10点の配点とした。

表 評価項目一覧

指標		項 目		考え方	配点	小計
指 針 (校地計画)	防災性	①	危険区域の有無（ため池）	危険区域外であるか、対策可能か	10	30
		②	〃（洪水）	〃	10	
		③	〃（土砂災害）	〃	10	
	利便性・安全性	④	公共交通の有無	鉄道駅、バス停が近くにあるか	5	30
		⑤	通学経路の安全性	頻繁な車の出入りがないか、安全な駅か	15	
		⑥	危険埋蔵物・汚染土壌の有無	敷地内に危険埋蔵物等がないか	10	
	周辺環境	⑦	緑地、公園、文化的施設等の有無	健康で快適な環境か	4	20
		⑧	騒音、振動、臭気等の有無	工場の有無、騒音等がないか、航空自衛隊岐阜基地からの距離	8	
		⑨	風俗・娯楽施設等の有無	射幸心を刺激する施設がないか	8	
	地域交流	⑩	学校の有無	他校との交流	3	10
		⑪	保育園・幼稚園の有無	園児との交流	2	
		⑫	高齢者施設の有無	高齢者との交流	2	
		⑬	医療機関、福祉施設等の有無	病院や関係機関との連携	3	
	敷地条件	⑭	敷地形状、面積確保	正方形に近い形状で 30,000 m ² 程度確保可能か	10	20
		⑮	将来のニーズ変化における拡張性	将来のニーズ増加にともなう拡張が容易か	10	
事業性	経済性	⑯	造成工事の必要性	高低差の有無、その他造成の必要性	10	20
		⑰	建物補償の有無	建物補償の有無	10	
	合意形成	⑱	地権者等との合意形成	合意形成に支障となる課題が想定されるか	20	20
将来性	都市計画	⑲	土地利用及び構想	土地利用構想から将来における環境の変化を考慮	10	10
					合計	160

※比較表における各項目の◎、○、△の点数の考え方は以下の通り。

◎：満点、○：◎の1/2点、△：0点

アンケート調査の結果からも防災面や公共交通は重視される傾向があり、地域交流について一定の意見はあるものの、比較的重視されていない傾向があるため、配点は妥当である。

本構想における評価指標と「特別支援学校施設整備指針 H28.3 文部科学省 第2章第1節 校地計画」における検討項目との対応を以下に整理する。

表 特別支援学校施設整備指針における検討項目と該当指標

大項目	中項目	内 容	重要性	該当指標	
校地環境	安全な環境	自然災害に対する安全性	高	防災性	①②③
		安全な地盤であり、危険な埋蔵物や汚染のない土壌	高	利便性・安全性	⑥
		危険な高低差や池等がない安全な地形	高	利便性・安全性	⑤
		自然地形を生かし、過大な造成を避ける	中	過大な造成なし	
		校地に接する道路幅員に配慮し、緊急避難や緊急車両の進入等に支障のない敷地	高	特に問題なし	
		死角を避け、見通しの良い地形	中	利便性・安全性	⑤
	健康で快適な環境	良好な日照及び空気、排水の便が良好（病弱対応）	高	支障なし	
		見晴らしや景観が良好、近隣に緑地・公園・文化的施設等がある	低	周辺環境	⑦
		（幼稚部）幼児の活発な運動を促す地形や樹木等がある	中	幼稚部対象外	
	適切な面積及び形状	将来の施設需要に十分対応できる敷地面積	中	敷地条件	⑮
		他の特別支援学校等を同一敷地内に併置する場合、それらの施設整備との関連に留意し必要面積を確保	高	併置予定なし	
		校舎、屋外運動場の適切且つまとまった配置	中	敷地条件	⑭
周辺環境	安全な環境	頻繁な車両の出入りやその他危険な施設がない	高	利便性・安全性	⑤
		騒音、振動、臭気等を発生する工場や施設等がない	高	周辺環境	⑧
		共同利用施設や公園に近接	低	地域交流	⑦
	教育上ふさわしい環境	学校間の連携、地域施設とのネットワーク	低	地域交流	⑩⑪⑫
		関連ある医療機関、福祉施設と連携しやすい位置	低	地域交流	⑬
		風俗関連施設や射幸心を刺激する施設等がない	高	周辺環境	⑨
通学環境	通学区域・通学方法との関連	生徒の居住分布や特性に配慮した疲労を感じない程度の通学距離、保護者やスクールバス等による送迎など交通利便性への考慮	中	利便性・安全性	④
		他校や関連施設との連携を考慮した移動経路・方法	中	地域交流	⑤
	通学経路	交通頻繁な道路や踏切を避ける、防犯上から死角が多い場所や一通りの少ない場所を極力さける	中	利便性・安全性	⑤
		通学経路周辺の住民や関係機関等に対する理解と協力を求め、周辺地域への影響に配慮	中	利便性・安全性	⑤⑰
		標識や誘導設備等の環境整備	中	利便性・安全性	⑤

※重要度 高：必要な施設機能を確保するために標準的に備えることが**重要なもの**

※重要度 中：より安全に、より快適に利用できるように備えることが**望ましいもの**

※重要度 低：必要に応じて付加・考慮するもの

※灰色着色：検討対象外

上記に加え、本市における事業性や地域特性の観点から以下の項目も加えて、比較検討を実施する。

- ・経済性：建物補償の有無
- ・合意形成：事業の早期実現性、土地利用の変更
- ・都市計画：都市計画における将来的な位置付け

3. 候補地選定の比較検討

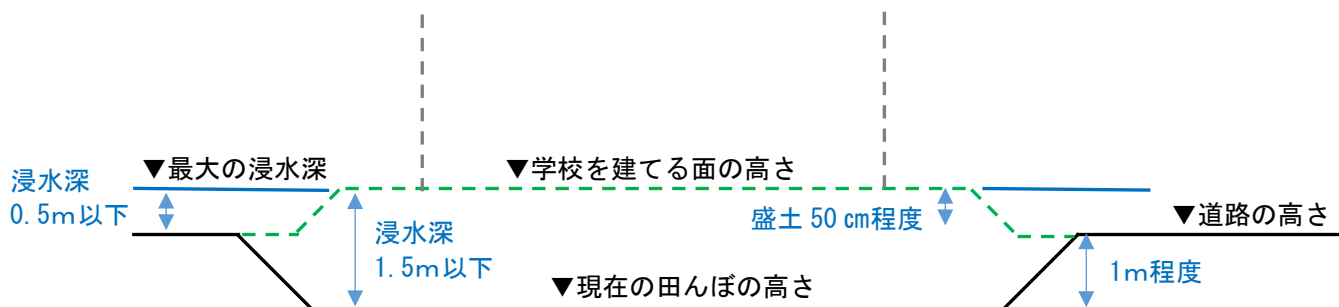
候補地				Aエリア				Bエリア				Cエリア				Dエリア												
所在地				各務西町地内				鵜沼羽場町地内				鵜沼西町地内				上戸町地内												
指標		項目		配点		考察		評価		得点		得点率		考察		評価		得点		得点率								
指針 （校地計画）	防災性	危険区域の有無（ため池）		10	該当なし		◎	10	100%		浸水区域あり（泳池、奥池・苺池） （道路面高さで浸水深50cm以下のため対策可）		○	5	67%		浸水区域あり（翠池・大安寺新池） （道路面高さで浸水深50cm以下のため対策可）		○	5	83%		該当なし		◎	10	50%	
		危険区域の有無（洪水）		10	該当なし		◎	10			該当なし		◎	10			該当なし		◎	10			浸水深さ2m～5m		△	0		
		危険区域の有無（土砂災害）		10	該当なし		◎	10			土砂災害警戒区域あり （土石流の高さは25cm以下のため対策可）		○	5			該当なし		◎	10			土砂災害区域に近接 （通学経路が区域内を通る可能性あり）		○	5		
	利便性・安全性	公共交通の有無		5	・付近には駅なし ・バス：8路線、7停留所（500～1,000m圏内）		◎	5	83%		・名鉄羽場駅（約500～1000m圏内） ・バス：4路線、4停留所		◎	5	75%		・名鉄鵜沼宿駅（約200～500m圏内） ・バス：2路線、1停留所		◎	5	50%		・付近には駅なし ・バス：1路線、2停留所		○	2.5	67%	
		通学経路の安全性		15	歩道が整備されており、交通量もそれほど多くない。また公共施設等（警察署、市民会館等）が多く、見守りによる安全が図られる。		◎	15			鵜沼中～羽場駅間の道路で一部歩道が未整備であることに注意		○	7.5			鵜沼宿駅は踏切内の島式ホームであるため、安全性に懸念がある。他施設との交流の観点では、踏切を跨ぐ可能性がある。		△	0			工業団地が付近にあり、大型車や通勤時の交通量が多いと想定される		○	7.5		
		危険埋蔵物・汚染土壌の有無		10	雑種地であり調査が必要		○	5			農地のため問題ないと想定される		◎	10			農地のため問題ないと想定される		◎	10			農地のため問題ないと想定される		◎	10		
	周辺環境	緑地、公園、文化的施設等の有無		4	付近に該当施設なし		△	0	60%		歴史街道地区		◎	4	100%		付近に該当施設なし		△	0	40%		西洞山古墳群		○	2	50%	
		騒音、振動、臭気等の有無		8	一部に工場、採石場あり		○	4			対象施設なし		◎	8			対象施設なし		◎	8			工業地あり、航空自衛隊岐阜基地の騒音対策における1種地域		△	0		
		風俗・娯楽施設等の有無		8	対象施設なし		◎	8			対象施設なし		◎	8			射幸心を刺激する施設（パチンコ店）あり		△	0			対象施設なし		◎	8		
	地域交流	学校の有無		3	中央小、中央中		◎	3	80%		鵜沼中		○	1.5	70%		鵜沼第一小		○	1.5	55%		稲羽中		○	1.5	15%	
		保育園・幼稚園の有無		2	子苑第二幼稚園		◎	2			うめま第二幼稚園、合歡の木幼稚園		◎	2			鵜沼中保育所		◎	2			付近に該当施設なし		△	0		
		高齢者施設の有無		2	付近に該当施設なし		△	0			特別養護老人ホームDANKE		◎	2			特定施設オークヒルズ各務野老人福祉施設		◎	2			付近に該当施設なし		△	0		
		医療機関、福祉施設等の有無		3	東海中央病院		◎	3			東保健相談センター		○	1.5			付近に該当施設なし		△	0			付近に該当施設なし		△	0		
	敷地条件	敷地形状、面積確保		10	敷地の高低差が大きく、校舎やグラウンド面の造成面に段差が生じるため、擁壁や法面からの転落の恐れがある		○	5	50%		可能		◎	10	100%		可能		◎	10	100%		可能		◎	10	75%	
		将来のニーズ変化における拡張性		10	開けた土地はあるが、民家等が点在している		○	5			開けた土地で敷地に余裕あり		◎	10			開けた土地で敷地に余裕あり		◎	10			開けた土地はあるが、工場の従業員用駐車場やソーラーパネルなどが点在している		○	5		
一次選定				110	当該地区は、付近の停留所に停車するバス路線が多く交通の便が良い。また、学校等に加え、病院や警察署などの公共施設等が立地しており、交流性が良い。一方で、周辺に工場や採石場が立地するなど、周辺環境が若干劣る。また、敷地内に段差が生じ、特別支援学校として、安全面で懸念がある。		合計	85.0	77%	当該地区は、開けた空間で駅も近いため、生徒の安全・快適な利用が見込まれる。また、中学校、幼稚園、老人ホーム、歴史街道地区等があり、交流性が良い。一方で、土砂災害やため池浸水のハザードマップに該当するため対策が必要となる。		合計	89.5	81%	当該地区は、比較的開けた空間で駅も近いため、利便性は高い。一方で、線路に近接したエリアであるとともに、駅が島式ホームのため、乗降時の踏切内での列車との接触など安全性に懸念がある。		合計	73.5	67%	当該地区は工業地域で航空自衛隊基地があるため、騒音等の懸念がある。また、洪水時の浸水深が大きく、敷地内の対策だけでは周囲から孤立する可能性もある。当該地区を活用するには近隣業者との連携が不可欠等、課題・問題点が多い。		合計	61.5	56%				
				○				○				駅の安全性、線路（進入防止柵無し）に近接のため×				浸水に対する対策が過大となるため×												
事業性	経済性	造成工事の必要性		10	高低差 3m前後、要擁壁		△	0	25%		高低差 1～3m前後、要造成ため池浸水対策で盛土が望ましい		△	0	50%													
		建物補償の有無		10	建物が点在しており補償となる恐れあり		○	5			建物は回避可能である		◎	10														
合意形成	地権者等との合意形成		20	雑種地で市街化区域に近いため、土地活用が想定される。建物、駐車場、グラウンド等の支障移転が含まれる。一部の地権者への意向調査において、難色を示される方あり。		△	0	0%		農地として利用されており、農業振興地域のため、個人での農地以外の土地活用は不可。一部の地権者への意向調査において、難色を示される方なし。		◎	20	100%														
	都市計画		10	未定		◎	10	100%		歴史・文化・景観等に配慮した交流拠点の形成		◎	10	100%														
二次評価				160	事業性や将来性の観点から、市街地に近い立地であるため、意向調査により用地交渉や補償が難航した場合には、整備スケジュールの長期化など事業実施の円滑性に支障が生じる恐れあり。		合計	100.0	63%	事業性や将来性の観点から、支障となる物件は無く、一般的に農地は用地交渉の際に取得しやすいと考えられることから、整備スケジュールに対する事業実施の円滑性に懸念は少ない。		合計	129.5	81%														
				○				◎																				

◆防災性の補足説明資料

【Bエリア】

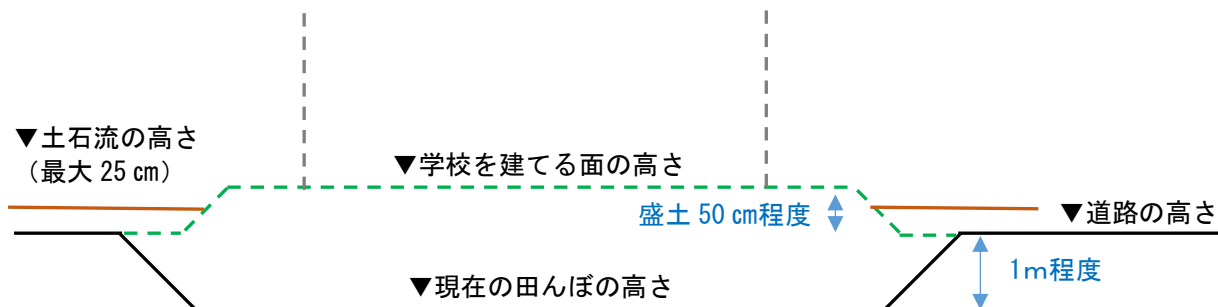
①ため池浸水区域

Bエリア周辺のため池の被害想定区域図より、候補地における浸水が想定されるが、道路路面の高さではいずれも0.5m以下であり、敷地造成として道路面より0.5～1m程度の盛土は可能であるため、対策は可能である。また、周辺のアクセス経路の状況から計画地だけが孤立することは無いと想定される。



②土砂災害危険区域

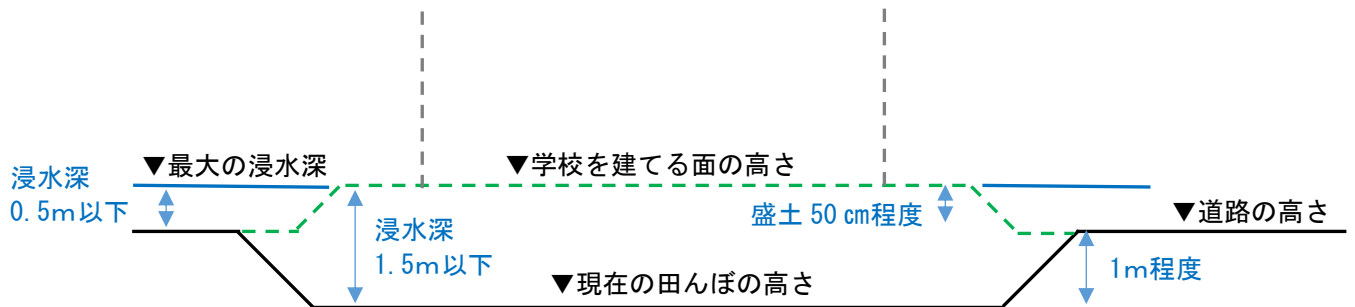
候補地は、土石流の想定範囲の末端に位置しており、土石流の最大の高さは25 cm以下であり、敷地造成として道路面より0.5～1m程度の盛土は可能であるため、対策は可能である。また、建物に損壊が生じる程の危害は想定されていない。



【Cエリア】

①ため池浸水区域

Cエリア周辺のため池の被害想定区域図より、候補地における浸水が想定されるが、道路路面の高さではいずれも0.5m以下であり、敷地造成として道路面より0.5～1m程度の盛土は可能であるため、対策は可能である。



【Dエリア】

①洪水浸水区域

Dエリア周辺の洪水ハザードマップより、候補地における浸水が想定され、洪水した場合に想定される水深は2～5m未満であることから、地区全体が水没することが想定され、敷地造成のみの対応で対策することは困難である。

